

宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和4年度・第4回）議事概要

日 時 令和4年（2022年）7月13日（水）14：00～15：45

場 所 宝塚市立中央公民館 ホール

出席者 <まちづくり協議会>

仁川まちづくり協議会 綿 昭人会長

宝塚市高司小学校区まちづくり協議会 川島 昭会長

宝塚市良元地区まちづくり協議会 中 義昭会長

宝塚市光明地域まちづくり協議会 小林 敏明副会長

宝塚市末成小学校地域まちづくり協議会 加藤 富三会長

宝塚市西山まちづくり協議会 久保田 洋一会長

まちづくり協議会コミュニティ末広 豊田 茂男代表

宝塚第一小学校区まちづくり協議会 山本 敏晴会長

逆瀬台小学校区まちづくり協議会 石谷 清明会長

宝塚市すみれガ丘小学校区まちづくり協議会 押条 雅英代表

宝塚小学校区まちづくり協議会 喜多 毅会長

売布小学校区まちづくり協議会 笹田 光治会長

宝塚市美座地域まちづくり協議会 糸瀬 豊光代表

安倉地区まちづくり協議会 岡本 康夫会長

宝塚市長尾地区まちづくり協議会 阪上 良彦会長

中山台コミュニティ 松下 義弘会長

宝塚市山本山手地区まちづくり協議会 安達 みづほ代表

宝塚市長尾台小学校区まちづくり協議会 三島 基道会長

宝塚市西谷地区まちづくり協議会 二井 久和会長

<その他>

市民交流部 上田部長、浅井室長

市民協働推進課 新城課長、岡田係長 他

教育委員会管理部 高田部長、学校教育室 伴室長

学校教育課 平野課長、片上副課長、小椋係長

社会教育課 水野課長、河本係長

子ども家庭支援センター 北浦職員

ファミリーサポートセンター 徳田所長、藤森氏

宝塚NPOセンター 馬越氏、西中氏

宝塚市社会福祉協議会 前菌課長

議事概要（要旨）

1 宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（令和4年度・第3回）議事概要の確認

各まちづくり協議会代表者により、上記議事概要の確認が行われ、ホームページへ公開することが承認された。

2 地域ごとのまちづくり計画

(1) 令和4年度地域ごとのまちづくり計画「進捗確認シート」の配布

各まちづくり協議会に配布したうえで、市民協働推進課より、説明があった。

(2) 「推進シート」及び「対話シート」の状況報告

市民協働推進課より、配布資料に基づき、実施状況の報告があった。

高司小学校区まちづくり協議会、宝塚市良元地区まちづくり協議会、宝塚市山本山手地区まちづくり協議会分の対話シートが共有され、該当のまちづくり協議会から以下のとおり報告があった。

ア（高司）防災倉庫等について、なかなか話が進んでいなかったが、（今回の対話で）道筋を作ることができたと思う。また、子供を含めた防災教育をどう進めていくかについて、手順までは及ばなかったが、教育委員会と一緒に進めていくことができれば、というところまでは話できた。

イ（良元）タウンウォッチングは以前から続けているもので、スタッフ約15人（PTA、学校の先生を含む）でまちの端から端まで決まったルートを毎年回っている。定点観測ができることで、変更点や改善点が見え、要望したことが反映されているという手ごたえが出るため充実感がある。一方、長年解消しない課題も多くあり、続ける必要があると考えている。地域と行政側のお互いの理解が進んでいる。

3 地域活動のデジタル化

(1) まちづくり協議会補助金（第4号：デジタル化促進事業）の使途

市民協働推進課より、配布資料に基づき、上記申請状況の報告があった。申請書の提出のあったまちづくり協議会コミュニティ末広、宝塚市美座地域まちづくり協議会の事業計画書等が共有された。以下のとおり、該当のまちづくり協議会から報告があった後、質疑応答を行った。また、宝塚NPOセンターから参考資料の説明があった。

ア 報告

(ア)（末広）デジタル化の絶好のチャンスであると捉え、早くから検討を始めた。

まずは、Zoomの活用を中心としている他、現在、子ども会の保護者の協力で全戸に配布している広報誌について、将来的に配布を無くすことも大きな目

標としており、既に各部で導入しているLINEの活用を今後も続けていきたいと思っている。

- (イ) (美座) 拠点施設が狭く、役員会を行うと密になる。コロナ禍でも役員会議を開催できるよう、この機会を活用する。ただ、機材を扱うことが難しく、部長会等でオンライン会議に慣れていくことが先決であると考えている。今週の役員会でどこまでできるのかを検討してできることから進めていきたいと思う。

イ 意見交換

- (ア) 防災担当が熱心に活動しており、防災部としてパソコンを含むデジタル化をしたいと申し出があったが、個人宅で機材の管理をするという内容であった。機材を個人管理とした場合の管理方法に悩んでいるため、事例があれば教えてほしい。また、各まち協の防災ネットワークづくりの状況を分かる範囲で教えてほしい。
- (イ) 県民広場（拠点）があるため、機材の個人管理はしていない。
- (ウ) 防災について、宝塚市が出しているものを参考に二つのマニュアルを作成した。一つ目は、避難所マニュアル。二つ目は、地区の防災計画。また、LINEで防災に関係するトークルームを設置しており、そこで話せる環境がある。ただ、始めたばかりのため効果は不明である。
- (エ) まち協で購入した備品は、備品台帳を作成し、今どこにあるのか（所在）をしっかりと記録している。また、アカウント料もまち協で購入している。

4 コミュニティ・スクール

学校教育課より、配布資料に基づき説明があったのち、意見交換が行われた。意見の概要は以下の通り。

- ア 仕組み自体は十分理解できたが、現実的に変わったのか。教育委員会でルールを統一できるとのことだが、現状は以前の学校評議委員会と変わらない。また、スライドNo. 7を見ると、学校運営協議会で話した内容を地域や保護者へ説明とあるが、実際は行われていない。どんなことが決まったのか、地域でどういう子供を育てるかということすら見えていない。学校の運営方針、地域や家庭がしなければならないこと、していきたいことが学校運営協議会でしっかりと話されたうえで、それぞれがやるべきことをやる、そして、どこまでできたかを話さなければいけないと思うが、実際はできていないと考える。本当にしようと思えば、年に3回～4回の会議では少ない。また、この地域でどういう子どもを育てるかは、1年で達成できるものではなく、長期的に見ていく必要があり、引き継いでいかないといけない。1年間でこういうことをやりました、だからこの分が足りないですよということが次の年に繋がっていくことになる（べきで

- ある)と思う。システムは入れたが、魂が入っていないと感じる。
- イ (市) 現状の課題はたくさんある。周知については、まだ弱い部分があると認識している。現状は、学校だよりやHP等で発信を行っているが、市としてもこういう風にやっていきますということを発信していく必要があると思っており、しっかりと取り組んでいきたい。また、やり方についてもできていないとご指摘いただいたが、今年は1年目ということもあり、H30年度からの分が集積されて5年目として成果が上がっているかという、まだまだな部分がある。意見はしっかりと学校に伝えて、教育委員会で動けるところはしっかりと動いていきたいというのが答えになる。しっかりと取り組んでいきたい。
- ウ 前回と比べて、大変分かりやすくなった。2点ほど追加で説明を求めたい。まず、学校運営協議会は何が変わったかというスライドNo. 8の「取扱い」とは何か。
- エ (市) R3年度までは教育委員会から学校へ方向性を伝えただけで、各校で要領を作成していた。例えば、委員の人数やいろんな面で学校が独自にルールを決めてきた。(R4年度からは、)教育委員会の規則で定めたものを使ってくださいと言っている。
- オ 教育委員会が作成したものを使ってくださいというだけの話か。
- カ (市) はい。
- キ スライドNo. 9について、なぜ時間を設定しているのか。また、回数も設定されているが、テーマによって会を重ねて成果が上がるようにしなければならないと思う。決める必要はない。
- ク (市) 時間、回数は特にルールとしては決めておらず、あくまで参考として出している。
- ケ (仕組み、スケジュール等について) 型にはめようとしていて非常にやりづらい。前回の説明でも、承認となれば責任が伴うということや特別職の地方公務員といった言葉が出ているが、もし、自身が(学校運営協議会に)入れと言われれば、責任が伴ったり、義務を生じたり、型にはめられると入れないと思う。これから各地域で説明されても、それぞれがあまり理解できないまま進むと思う。仕組みやスケジュールはある程度地域に任せる、と柔軟な文言にして、事例を紹介してそれぞれの地域でやってください、と提示するだけで良いと思う。自身の地域の事例としては、挨拶運動や見守りの時のウェアや腕章の統一等がある。具体的な取り組みを一緒に考えましょうという程度で良いのではないかと。
- コ (市) コミュニティ・スクールについては、学校教育部だけではなく、管理部も一緒に取り組もうということで、話を聞いて進めてきた。ご指摘いただいた内容は教育委員会でも共有している。地域にとって何が必要なのか、何をしていかなければならないのかを中心に今回は説明をしようという例を出したが、誤解があったように思う。質問があったとおり、(会議の時間や回数の設定は)あく

まで一例としての提案であり、地域の中で考えてやっていただければというのがコミュニティ・スクールの一番の願いである。その何をするかという検討段階を「熟議」、実施に移すことを「協働」と言っている。令和3年度と令和4年度の違いを強調しているが、地域の方は今まで通りの活動を皆さんの考えで進めてもらえればよい。違いは文部科学省と宝塚市との関係の間で整理しなければならないということであって、地域の中では、それほど大きな変化はない。ただ、行政対地域、学校対地域とならないように、協働していきたい。何かを責めたり、何かに注文を付けたりということはないようお願いできればというのが趣旨である。

サ 上記のことは、地域も真剣に考えている。(現状、) 運営協議会の中で話が終わっている。学校運営協議会で決まったことを地域や家庭も理解して、委員以外の地域の意見も反映されなければいけないと思う。今回の見直しに合わせて、本来あるべき姿にもっていかなければ絵に描いた餅で終わってしまう。地域と家庭と学校で話し合っ出てきた必要なこと、根本の部分である地域でこういう子供を育てましようということも明確にしたうえで、それぞれがどういう役割を果たすかということが話し合われていない。それぞれの役割が果たせるように、しっかりと協議をしてほしいというのが私の願いである。

シ 昨日、コミュニティ・スクール(の運営協議会)があった。従来と変わったことについて説明があったが、イベント等は大きくは変わっていないという認識で活動しようとしている。

ス 今回初めて学校運営協議会の委員になった。宝塚市学校運営協議会の規則を読むと、それほど難しい話ではなく、旧来と変わらない。今回変わったところは学校園長の権限と責任が非常に重くなっている。校長先生がうちの地域ではこういう学校にするのだといったことについて、学校運営協議会が承認する。大切なのは、コミュニティ・スクールに参加するメンバーの意識を変えなければならない。また、規則を見ると学校教育に関する目標や学校を経営として見ていこう(満足度を上げる)という風に切り口が変わっている。メンバーの意識が変わることが大切。(協議会に)参加したが、前例踏襲型の議論になっている。規則等についても、委員に配布の上、分かりやすく説明するべきである。やることは変わっていないが、コンセプト、考え方が変わっている。全国と比較して、宝塚市の学校の課題として、子供の自己有用感がとても低い、これを何とかするために、地域で子供たちを守っていこう支えていこうというのが大きな問題であると思う。

5 新型コロナウイルス感染症を踏まえた地域活動

ア 【すみれ】盆踊りを実施予定である。食事は禁止でアルコールを除く飲料のみ

可とする。

- イ 【宝小】 昨日学校長と話し、変異株の感染力等から、新型コロナウイルス感染症対策のため、盆踊りの中止を決定した。
- ウ 【売布】 気温等を調査した結果、熱中症対策（マスク着用）をとるのが難しいため、夏祭りの中止を決定した。
- エ 【末広】（祭りについて、）学校でできないということで、8月6日（土）伊和志津神社での実施に向けて準備を進めているが、まだ悩んでいる。
- オ 【光明】 7月23日（土）15:00～19:00にグラウンドで実施予定。飲食無し、盆踊りは30分、光明太鼓の演奏と音楽隊を合わせて30分、ゲーム大会を企画している。中止は決めていない。
- カ 【中山台】 まち協としては祭りしておらず、自治会ごとに祭りを行っている。自治会によると、コロナに関係なく、もともと夏の開催は（暑さ等で）大変なため、秋祭りに移行する動きが出ている。夏祭りの実施を予定していた自治会については、中止が決定している。

6 宝塚市ファミリーサポートセンター事業の紹介

ファミリーサポートセンター（一般社団法人）宝塚市保健福祉サービス公社より、配布資料に基づき、説明があったのち、意見交換が行われた。意見の概要は以下の通り。

- ア 金曜日の通学時間帯にPTAが子供の見守りをしているが、妹や弟を1時間近く家に置いていかななくてはいけない状態がある。15分ほど立ち番をしてもらうことも可能性としてあるのか。
- イ （ファミサポ）PTAがすべき役割を代行するのではなく、例えば妹や弟を地域の方が預かって、母親がついでに買い物をして1時間ぐらいで帰ってこられるようなサポートを組み立てることになるかと思う。

7 市民協働推進課からのお知らせ

以下（1）～（3）について、周知があった。

- (1) コミュニティ助成事業
- (2) （※再周知）令和4年度地域活動きずな研修_若手職員参加調整表の提出について（お願い）
- (3) （※再周知）「仕組みに対するアンケートご協力のお願いについて」

8 宝塚市社会福祉協議会からのお知らせ

以下（1）～（3）について、依頼と周知があった。

- (1) 第7次地域福祉推進計画の説明会の開催

- (2) 第4回自治会見守り活動交流会
- (3) ボランティア活動センターの新名称

9 宝塚NPOセンターからのお知らせ

以下(1)について、依頼と周知があった。

- (1) まちづくり協議会ポータルサイト：総会資料掲載のお願い(再依頼)

10 その他

特になし

11 今後の日程

市民協働推進課により、配布資料に基づき、令和4年度の開催予定について周知があった。

以上